～おいしさと楽しさ～
シノブフーズ株式会社
証券コード 2903

第54期 年次報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

【経営理念】

当社グループがめざす姿

『おいしさと楽しさ』をモットーに、
消費者ニーズに応える商品づくりを通じ、
健康で豊かな食文化の向上に貢献し、
顧客、取引先、社会に信頼され、
そして従業員、株主、企業それぞれが
充足することをめざしてまいります。

社会の活力を支える企業として

私たちシノブフーズは、
お客様の視点に立った「安全・安心な商品」を
お届けすることはもちろん、コンプライアンス、
CSR（企業の社会的責任・社会からの信頼）に
もとづいた企業活動を実践し、
さらなる成長のための行動力を磨き、
変化に対して積極的に
挑戦してまいります。

中期ビジョン

中期経営計画における 基本戦略

当社グループでは、経営理念に則した「良品づくり」の
さらなるレベルアップを実現するために
4つの基本戦略をもとに取り組んでまいります。

販売戦略

良品をお届けするために必要な
「製造力」「開発力」「営業力」を磨き、
安全・安心で美味しい商品を
より多くのお客様に安定的に
提供する体制を強化してまいります。

コスト戦略

良品を継続的にお届けするために、
原材料面、労務管理面、販売管理面を
中心に現場レベルでの緻密な管理を行い、
中長期的な視点でのコスト削減に
取り組んでまいります。

人財戦略

多様な働き方や働き手に対応した
職場環境の整備に取り組み、
健康で働きやすく能力を発揮し続けられる
職場づくりと、研修制度の充実など
スキルの向上を進めてまいります。

環境戦略

フードロス削減、石油製プラスチックの
代替品やエコ素材を使用した
包装資材の積極利用を推進する
とともに、廃棄物総量の削減と
ゴミの再資源化に取り組んでまいります。

中期経営計画における数値目標

中期経営計画の数値目標として、
2025年3月期において連結売上高550億円、
経常利益率3.3%をめざしてまいります。

○数値目標［第55期（2025年3月期）］

売上高	550億円
経常利益率	3.3%

2022年3月期の期首から「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用し、一部の取引の収益を純額で認識しており、適用後の数値目標へ修正しております。

代表取締役社長
松本崇志

さらなるレベルアップの実現へ向け

シノブフーズは、『おいしさと楽しさ』をモットーに、設立以来50年以上、「食」にかかわる企業の使命として、お客様のニーズや社会のスタイルに合わせた商品を提供してまいりました。

第54期は中期経営計画【「良品づくり」のさらなるレベルアップをめざす5カ年計画】の4年目であり、商品づくりを通じ、健康で豊かな食文化の向上に貢献し、顧客、取引先、社会に信頼され、そして従業員、株主、企業それぞれが充足することをめざし、取り組んでまいりました。

今後も「安全・安心な商品」をお届けすることはもちろん、コンプライアンス、CSR（企業の社会的責任・社会からの信頼）にもとづいた企業活動を実践するほか、環境負荷軽減や持続可能な社会づくりに貢献し、さらなる成長のための行動力を磨き、変化に対して積極的に挑戦してまいります。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
548億2千5百万円	23億6千9百万円	24億9百万円	11億6千7百万円
前期比7.4%増	前期比26.3%増	前期比26.5%増	前期比 —

営業の概況

当社グループは中食業界に属し、主要な取引先であるコンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストア等へ弁当、おにぎり、調理パン、寿司及び惣菜等を製造卸販売しており、当社グループを取り巻く環境は、原材料の高騰やエネルギー価格の高止まり、物価上昇などの不安による消費者マインドの低迷など引き続き厳しい状況が続いております。

こうした状況下、当社グループは、「良品づくり」のさらなるレベルアップをめざす5カ年計画をテーマとした中期経営計画（2021年3月期～2025年3月期）を策定し、4つの基本戦略、「販売戦略」、「コスト戦略」、「人財戦略」、「環境戦略」に基づき目標達成に向け取り組んでおります。

販売面では、昨年に続いて「スーパーマーケット・トレードショー2024」に出展し、新規取引先の獲得に向けて、冷凍カテゴリーのほか常温商品やチルド商品など温度帯別の対応をアピールいたしました。既存取引先様へは当社の製品ラインナップを幅広く提案し、顧客のニーズに沿った営業活動の展開、生協様向けの夕食宅配弁当やカフェチェーン様向け商品の取引拡大により、売上高は堅調に推移いたしました。また冷凍事業においては2拠点目となる名古屋工場で冷凍設備を導入し、10月から冷凍おせちの製造を開始しました。大阪工場においても新規トンネルフリーザーを組み込んだ製造ラインを1ライン増設するなど、事業拡大に向けた冷凍設備への積極的な投資を行っております。

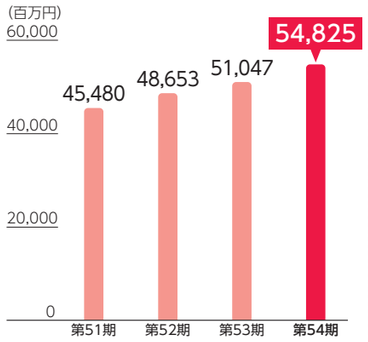
開発面では、商品力の強化と開発社員の技術向上をはかるため、現役のシェフなど社外からの講師を招いた勉強会を開催するとともに、「手作り感」や「出来立て感」をコンセプトに内製化をさらに進め、原材料の産地や製法など一品一品にこだわりを持たせた商品の開発に注力しております。また、原材料や製法に加えて包材やラベルなど、総合的な商品訴求力を持たせることで他社との差別化を図り、既存商品のブラッシュアップと新商品の提案を積極的に行いました。

コスト面では、労働コストの増加、原材料やエネルギー価格の高騰等が続いておりますが、これらを吸収するべく主要食材の調達方法の見直し、調理加工品アイテム数の削減や機械化による品質及び生産性の向上、各工場間での横断的な製造経費の見直しに取り組むとともに、原材料の高騰を見据えた商品規格の見直しを継続して行っております。

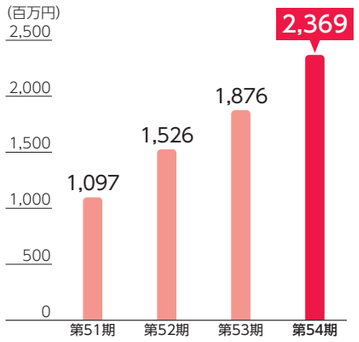
人財面では、職種別の会議体や勉強会においてWEBの活用に加えて各事業所への現場巡回を行い、スキルの向上や組織力の強化と均一化に取り組みました。また女性活躍推進プロジェクトチーム「WORK+」（ワークプラス）を立上げ、従業員の働きやすい環境を整えるとともに、女性リーダー研修、経営幹部研修などを通じた育成に加え、ライフステージに合わせた活躍の場を提供することで、より組織を活性化し「従業員」一人ひとりがいきいきと働ける職場環境の整備に努めております。

環境面では、プラスチック使用量を削減するため、軽量化した発泡素材容器への切換えや、広島工場に太陽光パネルを設置するなどCO₂排出量削減に取り組みました。また各事業所にて、地域の方々とともに清掃活動のボランティアに参加するなど、社会貢献活動に取り組んでおります。

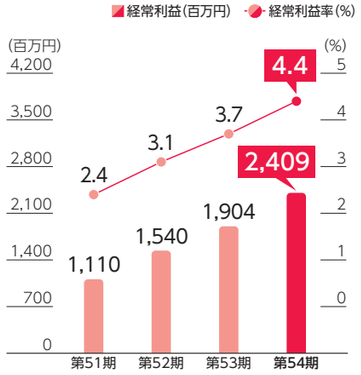
売上高



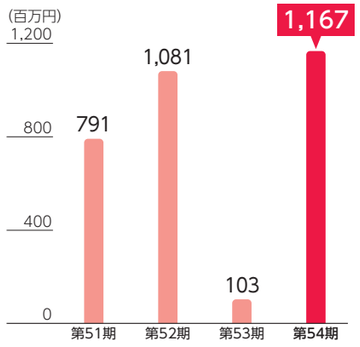
営業利益



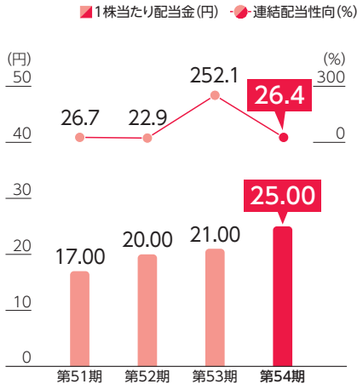
経常利益／経常利益率



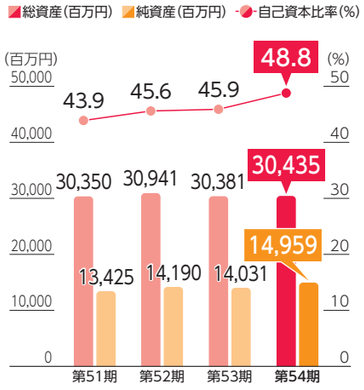
親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり配当金／連結配当性向



総資産／純資産／自己資本比率



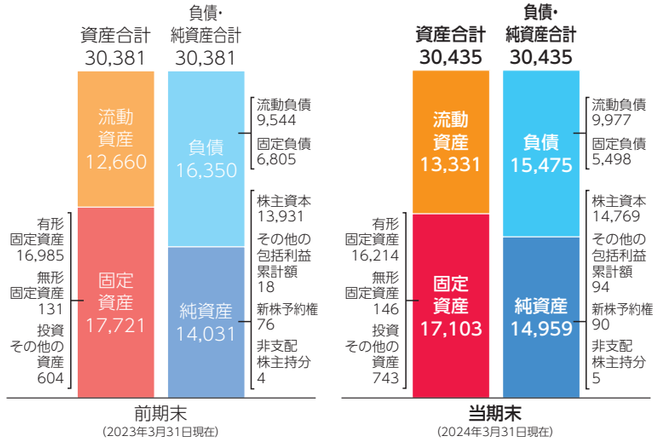
(注)「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第52期の期首より適用しております。第51期の業績につきましては、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

連結財務諸表

▶▶ Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



[資産合計]

売掛金の増加を主因に前連結会計年度末と比較して5千4百万円増加し、304億3千5百万円となりました。

[負債合計]

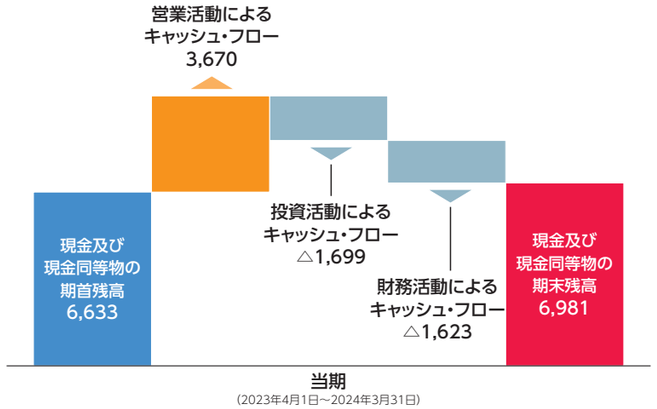
長期借入金の減少を主因に前連結会計年度末と比較して8億7千4百万円減少し、154億7千5百万円となりました。

[純資産合計]

親会社株主に帰属する当期純利益11億6千7百万円を計上する一方、配当金の支払額2億6千5百万円等により前連結会計年度末と比較して9億2千8百万円増加し、149億5千9百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



[営業活動によるキャッシュ・フロー]

税金等調整前当期純利益	1,622
減価償却費	1,539
その他の資産の増減額(△は増加)	95
法人税等支払額	△606

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

有形固定資産の取得による支出	△1,661

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

配当金の支払額	△265
長期借入れによる収入	700
長期借入金の返済による支出	△1,980

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社データ

▶▶ Corporate Data

会社概要

(2024年3月31日現在)

社名	シノブフーズ株式会社 SHINOBU FOODS PRODUCTS CO.,LTD.
設立	1971年5月1日
資本金	4,693,422,000円
従業員数	543名
事業内容	米飯加工食品(弁当、おにぎり、寿司等)・ 調理パン(サンドイッチ等)・惣菜等の製造販売

役員

(2024年6月20日現在)

代表取締役社長	松本 崇志	執行役員	花谷 由紀
代表取締役副社長	西村 寿清	執行役員	杉山 直博
取締役	清水 秀輝	執行役員	川部 昌文
取締役	長尾 正史	執行役員	足立 裕明
取締役	吉井 淳	執行役員	田向 智和
取締役(社外)	加藤 道彦	執行役員	藤井 誠
取締役(社外)	中野 由里	執行役員	萬田 幸一
常勤監査役	大塚 一樹		
監査役(社外)	野村 祥子		
監査役(社外)	南方 得男		

株式の状況

(2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	45,656,000株
発行済株式総数	13,000,000株
単元株式数	100株
株主数	7,136名

ネットワーク

(2024年3月31日現在)

本社　大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号
TEL(06)6477-0113(代表)

工場	●千葉	千葉県八千代市上高野1734番1
	●名古屋	愛知県弥富市四郎兵衛1丁目128番地
	●大阪	大阪市西淀川区福町1丁目9番16号
	●関西	大阪市西淀川区御幣島6丁目14番36号
	●京滋	滋賀県栗東市六地蔵1163
	●岡山	岡山県総社市中原字巽原88番の2
	●広島	広島県尾道市美ノ郷町本郷20001番地65
	●四国	香川県観音寺市柞田町字干拓丁93番7号
	●物流センター	大阪市西淀川区福町1丁目9番17号
	●東京事業所	東京都大田区蒲田5丁目42番6号 蒲田ハイツ201号
子会社	●㈱エス・エフ・ディー	大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号
	●マイツベーカリー㈱	大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号

株主メモ

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号　三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
(郵送物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号　三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
(電話照会先)	0120−782−031(フリーダイヤル)　(受付時間 9:00～17:00(土日休日を除く))
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
(よくあるご質問(FAQ))	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、左記「電話照会先」までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、左記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

TOPICS | トピックス

SMTS 2024 スーパーマーケット・トレードショー / デリカテッセン・トレードショー2024 へ出展

2024年2月14日～16日の3日間、幕張メッセにて開催された『スーパーマーケット・トレードショー2024』へ出展いたしました。昨年に続き、2年連続の出展となり、今年度も冷凍弁当や冷凍惣菜などの新たな取り組みや商品を、新規・既存取引先様をはじめ、多くのお客様にご提案することができました。

シノブフーズのサステナビリティ vol.5

私たちもまた世界市民の一員であるとの自覚のもとに、持続可能な地球環境と満足度の高い社会の実現をめざし、国連サミットで採択された国際目標「SDGs(Sustainable Development Goals-持続可能な開発目標)」の実現に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

広島工場へ太陽光パネルの設置

シノブフーズでは、環境への負荷軽減に努めており、2023年12月には広島工場へ太陽光パネルを設置いたしました。これで、本社、名古屋工場、四国工場へ続き、4拠点目の設置となり、合計で年間55万kWの発電、約300トンのCO_2の削減が可能となりました。

今後もCO_2排出量の削減をはじめ、環境への負荷軽減に取り組んでまいります。

その他のサステナビリティへの取り組みは、当社ホームページをご覧ください。 https://www.shinobufoods.co.jp/sustainable/

Shinobu
シノブフーズ株式会社
〒555-0011 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号
TEL(06)6477−0113(代表)
https://www.shinobufoods.co.jp/

FSC ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK
この報告書は、環境に配慮し、植物油インキを使用しています。